

聴覚障がい教育研究部会 活動報告

◆「聴覚障がい教育研究部会」がスタート

これまで「宮崎県特別支援教育研究連合 聴覚・言語障がい教育研究部会」として活動してきました、都城さくら聴覚支援学校、延岡しろやま支援学校聴覚部門、そして宮崎県難聴・言語障がい教育研究会は、この度、「聴覚障がい教育研究部会」（以下「聴覚部会」）と「難聴・言語障がい教育研究部会」の二つの会に組織を再編しました。それぞれの障がい種についてより専門的に研修を深めながら、今後も本県の特別支援教育の発展のため貢献していきます。

◆第1回 総会

新しく出発した「聴覚部会」の第1回目の総会を、令和3年7月27日、都城さくら聴覚支援学校と延岡しろやま支援学校をオンラインで結び、実施しました。



◆九州地区聴覚障がい教育研究会研究大会「宮崎大会」

令和3年10月11日、12日の2日間、九州地区聴覚障がい教育研究大会「宮崎大会」が、都城さくら聴覚支援学校、延岡しろやま支援学校を主管校として、九州各県にある聴覚支援学校をオンラインで結び開催されました。

この宮崎大会の準備は3年ほど前から始まっていましたが、オンライン開催が決定したのは昨年度のことでした。26回目を迎える本大会においても、オンラインでの開催は初めての試みで、各学部の研究協議会や分科会、教科別の情報交換会など、どのように実施するか事務局を中心に検討を重ねました。当日は最新のICTの技術から、スケッチブックを使つての連絡というアナログな方法まで駆使し、何とか成功のうちに終わることができました。各研究協議や分科会、情報交換会では活発な意見交換が行われ、九州各県の聴覚支援学校の取組について共有することができました。

延岡しろやま支援学校をメインに開催された記念講演では、本県とも深いつながりのある、群馬大学共同教育学部の木村素子准教授に御講演をいただきました。木村先生は、ろう重複障がい児の指導を中心に、聴覚支援学校の課題と果たすべき役割などについて御教示くださいました。そして、「どの時代、どの国においても、聞こえない・聞こえにくい子どもにとって、聾学校のもたらすことのできる学習環境と教育資源は希望である」とのお話は、私たち聴覚障がい教育に携わる教員への温かい叱咤激励であり、今後のさらなる専門性向上に向けて、力強いエールをいただきました。

